

東京学芸大学、埼玉大学、千葉大学、横浜国立大学の教育学部及び教育学研究科を母体として構成される連合大学院で、博士課程後期3年だけの課程からなる独立研究科です。学校教育学専攻の1専攻で組織し、9講座（教育科学関係の3講座と教科の内容を研究する基礎科学と教科教育学とを含んだ教科領域関係の6講座）で構成されています。大学における教員養成の充実を通して小・中・高等学校の教育の発展を図ることを目指して、教育の理論と実践に関する諸分野について、その専門的研究者の養成、教員養成・研修の充実のための研究等を行います。

（課程・専攻）

博士課程後期
学校教育学専攻

附属学校

附属鎌倉小学校

www.kamakurasho.ynu.ac.jp

鎌倉の中心であった鶴岡八幡宮に隣接している附属鎌倉小学校は、明治8年に発足しました。小中一貫の研究主題として「自立に向かいたくましく生きる児童・生徒の育成を目指す教育の充実」を掲げ、カリキュラムデザイン・授業デザインに取り組んでいます。ユネスコスクールにも認定されています。



附属鎌倉中学校

kamachu.ynu.ac.jp

小中一貫の研究主題として「自立に向かいたくましく生きる児童・生徒の育成」を掲げ、神奈川県教育委員会や地域の公立学校と連携して教科指導等の実践研究を推進しています。また、ユネスコスクールの活動にも積極的に取り組んでいます。本校伝統の有志合唱団は、令和元年度の県大会で金賞を受賞し、関東大会に出場しました。



附属横浜小学校

yokosyo.ynu.ac.jp

明治43年に神奈川県女子師範附属小学校として横浜の地に発足以来、調和と統一のある人間性豊かな子どもの育成を目指しています。港を一望する山手の丘の上で、友達とかわりながら、「共に学びをつくりあげる子どもの姿」を追い求めながら教育活動を行っています。



附属横浜中学校

yokochu.ynu.ac.jp

昭和22年神奈川県女子師範学校女子部附属中学校として発足。平成23年度からは県立光陵高等学校と中高連携入試が始まり、小中高大連携を推進しています。また、平成29年度より個人所有の端末を校内における学習に活用する「BYOD方式」を導入しており、PC1人1台の環境におけるICT活用法の確立と、先進的な授業研究が特色です。



附属特別支援学校

fuyou.ynu.ac.jp

附属特別支援学校は、知的障害のある子どもたちが学ぶ学校です。「やさしい心 じょうぶな体 がんばる力」を教育目標として掲げ、一人ひとりの発達や障害の状態、特性等に応じた教育を実践し、各自の可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加に必要な知識、技能及び態度を養っています。



附属図書館は、中央図書館、理工学系研究図書館及び社会科学系研究図書館の3館からなり、快適な学習環境の提供と各種資料の収集整理を通じて、本学の教育研究活動をサポートしています。

中央図書館は、学生が議論しながら学習できる場所であるグループ学習エリアやワーキングスタジオをはじめ、イベント用のホール、軽飲食のできるカフェ、卒業制作等に使用可能な情報ラウンジ、映像資料等視聴用のAVブース、充実したコンピュータ環境を備え、理工学系研究図書館の語学学習室や研究個室とともに従来の図書館の枠を超えた多機能文化空間を構成しています。3館で約133万冊を所蔵しています。



高等研究院

先端科学高等研究院

ias.ynu.ac.jp

先端科学高等研究院は、大学の改革と強化を先導できる体制を試行・創出しながら、「リスク共生」の理念に基づいて、安全・安心で持続可能な活力ある社会をグローバルに実現するために、世界を先導できる研究を推進しています。サイバー・ハードウェアセキュリティ、インフラストラクチャリスク、社会価値イノベーションの3研究群に配置された8研究ユニットが、国内外から結集した気鋭の研究者・技術者及び3つの先進技術研究センターと連携し、最先端研究の推進・開発技術の社会実装を学内外の連携・協働で加速的に推進し、社会実装自体の方法論の確立にも取り組んでいます。

リスク共生社会創造センター

www.anshin.ynu.ac.jp

リスク共生の理念を実現する社会を構築するために本学の最先端の研究成果等を社会に実装する研究・活動を行い、社会としての「リスクの共生のあり方」「最適な調和のある受容のあり方」を模索しながら安全安心の実現と活力のある社会の創造を目指しています。



先進化学エネルギー研究センター

acerc.ynu.ac.jp

21世紀を代表する問題に「エネルギー環境問題」があり、これまで大量に使い続けてきた化石燃料の継続使用に警鐘が鳴らされています。そこで、再生可能エネルギーも含めたエネルギーの有効利用を図り、化石燃料に依存した社会から脱却した「脱炭素社会」の構築に貢献し、持続可能社会を実現することを最終目的とし、本学の強みである電気化学を基軸とした化学エネルギー関連の新たな研究拠点として、2020年10月に設置しました。



量子情報研究センター

qic.ynu.ac.jp

量子情報社会の到来に向け、量子コンピュータ、量子暗号通信、量子センシングなどの量子技術関連分野を融合した新たな分野の創生等、量子技術関連分野を融合した先進的な研究を通じ、大規模な量子コンピュータネットワークあるいはグローバルな量子インターネットの構築を目指す実践研究を推進する世界的研究拠点として、2020年10月に新たに設置しました。

